

## 令和4年度 宗谷複式教育研究連盟活動の総括

昭和58年、それまで稚内市と管内町村との2本立てで行われてきた複式教育研究を統一する組織の再編が図られ、「宗谷複式教育研究連盟」が誕生しました。当管内の各市町村の研究体制はその地域性や歴史性から一様ではありませんが、統一主題である「宗谷の風土に生きる創造性豊かなたくましい児童生徒の育成」を目指して、へき地・複式・小規模校が極めて多い宗谷の教育の充実発展に大きく寄与してまいりました。

平成27年、「最北の風薫る宗谷の海と大地に生き 未来を担う子らに 豊かな心と確かな学びを！」を大会スローガンに14年ぶりに第64回全道へき地複式教育研究大会宗谷大会を全道各地より600名の参加をいただき盛大に開催することができました。

複式校の減少や学校数の減少により、市町村ごとに実行委員会を組織するとともに、管内教育研究大会という位置づけもし、大会の方針の一つに「オール宗谷で学びの場をつくる大会に」を掲げ、宗谷管内すべての小中学校と北海道教育庁宗谷教育局、各市町村教育委員会、そしてPTA等教育関係者の協力によって運営することができました。

特にわかる授業の構築を目指す若い教員の姿、いきいきと学習し生きる力を身に付けていく子どもたちの姿に感動と成果を感じることができました。

宗谷複式教育研究連盟の事業である「宗谷複式教育研究大会」については、平成13年度

「第50回全道へき地複式教育研究大会宗谷大会」の成功後、平成14年度よりブロック制を基本にして、各学校の学校研究の深化を目指し、共同研究と交流を柱としながら実践的な研究を深めてまいりました。各ブロックでは、会員はもとより、広く教育関係者のご理解とご支援で多くの困難を乗り越え、管内教育の充実発展に資する大きな研究成果や財産を残してきました。

現在、「宗谷複式教育研究大会」は、宗谷管内教育研究大会との共同開催とし、第43回枝幸大会以降、6年が経過しました。

今年度は、コロナ禍の中、宗谷複式教育研究大会、猿払・浜頓別・中頓別大会が行われました。猿払の知来別小学校・浜鬼志別小学校・浅茅野小学校で授業を公開していただきました。管内複式教育の貴重な学びの場として開催できたことがうれしいです。

複式実践講座は、5月12日に稚内会場（ハイブリッド）で、5月13日に枝幸会場（会同）で行われました。へき地小規模複式のメリットを最大限に活かす授業づくり「へき地校はたのしい」と題した講座を開催しました。北海道教育大学旭川校芳賀均准教授に講師をお願いしました。講座では、子どもの変容を支援できる授業づくりの大切さ＝「楽しさ」を「手段」でなく「目的」にする大切さを学ぶことができました。具体的には①楽しい授業内容の仕組みづくり②自治力が高まる活動の仕組みづくり③教室環境づくり④評価の在り方について、楽しさを「目的」にするいろいろな指導・支援の方法を学ぶことができました。

学校統廃合等で宗谷管内のへき地教育を取り巻く状況は、年々厳しいものになってきております。しかし、時代の急激な変化に翻弄されることなく、50年間の歴史に学んできた着実な実践研究と「五つの財産」をもとに、新たな展望を見いだしていきたいと考えております。

### ① 宗複役員研修会・市町村代表者研修会について

コロナ禍で4月の総会は、縮小し紙面による議案書検討をしていただきました。第1回目の市町村代表研修会、並びに役員研修会については、zoomによるオンラインでの会議となりました。

第3回、第4回役員会議については、会同で行うことができました。オンライン会議は、宗谷管内の地域性、感染防止の観点で有効であり、検討事項についての交流等も十分にできたと感じています。今後も、会議の持ち方については、役員や代表の意見に耳を傾け、工夫したいと考えています。

## ② 教育団体との連携・寄稿・執筆等

- 宗谷管内教育研究連携会議(宗谷管内教育研究大会実行委員会)  
会議出席(小島委員長、黒木事務局長)
- 第71回へき地複式教育研究大会胆振大会  
大会出席(菊池研究部長)
- 全国へき復HPへの寄稿協力(豊富町・幌延町)
  - ①事務室より～幌延町立問寒別小学校 事務職員 平井 梨理香(令和5年2月)
  - ②山紫水明～豊富町立兜沼小中学校 校長 佐藤 佳弘(令和5年4月)
  - ③学習指導案～幌延町立問寒別小学校 教諭 秋葉 雄太(令和5年6月)

### ◇今後の執筆者ローテーション

令和5年度	礼文町	利尻町	利尻富士町
令和6年度	稚内市		
令和7年度	猿払村		
令和8年度	枝幸町		

# 令和4年度 宗復連研究部・活動総括

## I 研究主題

宗復研究主題 『宗谷の風土に生きる創造性豊かなたくましい児童の育成』  
～地域性を生かし、一人一人を伸ばす小規模校教育の推進～  
北海道へき地・複式教育研究連盟 研究主題

『主体的・協働的に学び、ふるさとへの誇りと愛着をもった人間性豊かな子どもの育成』  
～児童一人一人が仲間とつながり、地域とともに「生きる力」を伸ばす学校・学級経営と学習指導の充実をめざして～

## II 研究推進の方針

- (1) 宗谷管内の小規模校の教育課題を共同の力で解決する方策を視点として推進にあたり、教育活動の質的向上と充実に努める。
  - ・どのような教育実践が管内各地、各学校でなされているか。〔実態の把握〕
  - ・新学習指導要領実施による教育課程の創意工夫は何か。〔方策の還元〕
- (2) 本連盟の研究推進の充実・創造的発展の推進役となり、研究の主旨、内容を各市町村に広く働きかけるとともに連絡・調整にあたる。

## III 今年度の重点事項

- (1) より参加しやすい管内複式教育実践講座の実施
- (2) 道へき・複連との研究連携
  - 全道へき複研大会胆振プレ大会(ファーストステージ)への参加推進

## IV 具体的活動内容

### (1) R4年度・第6回宗谷管内複式教育実践講座実施

#### ■ねらい

- ・初めて複式学級を担当する先生や初任者の先生の学びの場とする。
- ・複式授業の進め方、授業づくりの基本を学ぶ。
- ・参加者の課題意識を共有し、学びのネットワークづくりのきっかけとする。
- ・稚内、枝幸会場で実施し、オンラインでも参加できるハイブリット型講座を開催する。

日時 5月12日(木)稚内会場、5月13日(金)枝幸会場 14:30～

講師：芳賀 均(北海道教育大学教育学部旭川校准教授)

○枝幸会場22名 稚内会場24名の参加

○当日の日程・内容に関わって

講義と協議の両方勤務時間を考えて行くと、このような日程の設定になる。しかし、どちらかをメインに行うと15:00開催の16:30終了で深まる話になると思う。つまり、R5年度はアンケートを基に協議中心に行い今年度呼びした芳賀先生アドバイスをいただき、R6年度は講師を選定して講演中心に行う。1年ごとに協議、講演とやり方交互に実施する。

○その他

講座の日をその他の会議とぶつからない日程にする

宗復に加盟していない複式学級がある学校や単式学級の学校にも呼びかけていく。

会場校には前もって何が必要かなど準備についての連携を行う。

(2) 管内への情報発信 調査・情宣部と連携 (HP への掲載)

- ・複式教育実践講座の内容紹介

(3) 道へき・複研究大会等の情報の収集と発信

- ・全道へき地複式教育研究大会 胆振プレ大会 ※ライブ配信を予定

9月14日(水) 全体会(基調報告、分散会)、交流会(未定)

9月15日(木) 公開授業、研究発表、研究協議

※ 一般教諭の研究大会参加推進

○参加校4校 参加人数5名 (ハイブリット開催で多くの参加者が生み出した)

○R5年度ファイナルステージに向けて多くの参加者を生み出せるよう年間計画など配慮してもらう。

- ・全国へき地教育研究大会 山形大会

○参加校1校 参加人数1名 (オンラインで1校から参加者を生み出した)

# 令和4年度 宗谷複式教育研究連盟 調査情宣部 活動の総括（案）

令和5年2月9日

調査情宣部長 芳賀重紀

## 1 活動方針

- (1) 本連盟の研究や運営に関する会員の意向を広く調査し、本研究会の自主的運営の貴重な資料とする。
- (2) 管内のへき地複式校や複式教育研究会の活動の様子について交流を図る。
- (3) へき地小規模校の課題や実践を把握し、その対策について検討を図る。

## 2 活動計画

- (1) 管内複式研究会活動の交流を図り、各市町村組織の研究・交流、学校研究の充実に寄与する。
- (2) 小規模校や複式学級における特色ある活動や指導実践を情報化し、会員相互の連帯を強め、資質の向上に資する。
- (3) 今後の本連盟の研究や運営に向けて、アンケートや意識調査を行う。

## 3 具体的業務計画・担当

- (1) 複式校間の情報交流推進、ホームページ掲載

（HP担当：複数校市町村から互選）猿払 R1～3⇒稚内 R4～5⇒枝幸 R6～7

令和4年度 担当校（ ）

R3⇒稚内市 6、枝幸町 5、猿払村 3、礼文町 1、幌延町 1、利尻町 1、利尻富士町 1、豊富町 1

- ① 「管内複式校一覧」～研究部と連携して学校情報をクラウド上に集約する。
- ② 「複式校紹介」～フォームなどを活用し、加盟校の紹介文を集約・掲載する。
- ③ 複式校をつなぐ交流「あしたもともだち」の編集  
年1回発行～12月7日依頼→1月31日×→2月ホームページ掲載  
※事務局校が各市町村の活動をA4版1頁にまとめて紹介

- (2) 本連盟の運営や今後の方向性についてのアンケートや意識調査の実施

- (3) 道へき・複のアンケート調査の協力

- (4) 宗谷複式教育研究連盟HPを通じた研究活動の管内・管外への発信

- ① 各種事業等の成果や課題についての掲載
- ② 各市町村複式教育研究大会に係る指導案や実践事例の集約・掲載

## 4 総括

- (1) 今年度から、複数校市町村から互選してHP担当を決め、宗谷複式教育研究連盟HPの更新作業をする計画であったが、更新をするにも煩雑な作業を伴うため、情宣部の方で「管内複式校一覧」と「複式校紹介」のHP更新を行い7月までに掲載した。
- (2) 「あしたもともだち」は、1月末にデータ集約、2月HP掲載予定。
- (3) 活動の改善にむけ、必要に応じて google フォーム等を活用して調査を行う。
- (4) 各種アンケートや調査は、事務局・研究部と連携し対応していく。
- (5) 管内研のへき地・複式校である学校（浅茅野小・浜鬼志別小・地籟別小）の指導案・成果と課題などのまとめをホームページ上に掲載した。